



スタートガイド freee 会計連携編

こちらの資料では invox と freee 会計を連携させる流れについてご説明します。

基本的な操作方法については「基本編」をご覧ください。

また、仕訳編集や仕訳辞書については「取引・仕訳データ生成編」をご覧ください。

※本マニュアルに記載の内容はベーシックプラン以上でご利用可能です

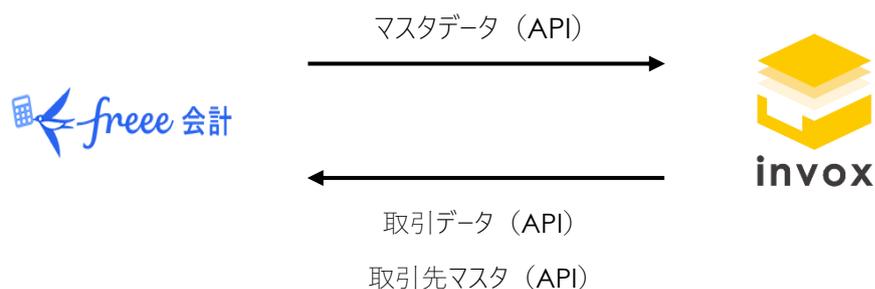
目次

1	freee がアドバンスプラン・エンタープライズプランのお客様	3
1.1	概要	3
	freee 会計から invox へ API で連携できるマスタ	3
	invox から freee 会計に連携する取引データの内容	4
	invox から freee 会計に送信する取引先マスタの内容	5
1.2	初期設定	6
	出力設定	6
	freee 会計との API 連携設定	7
1.3	マスタデータの API 連携	8
1.4	取引データの API 連携	10
	invox からの取引データの API での送信	10
	出力履歴の削除	10
2	freee がスタータープラン・スタンダードプランのお客様	12
2.1	概要	12
	freee 会計のマスタの invox への登録	12
	invox から freee 会計に連携する取引データの内容	13
2.2	初期設定	15
2.3	取引データの CSV ファイル連携	16
	invox からの取引データの CSV ファイル出力	16
	freee での取引データのインポート	16
	出力履歴の削除	17

1 freee がアドバンスプラン・エンタープライズプランのお客様

1.1 概要

freee 会計 API 連携をご利用いただくことで、freee 会計から invox へのマスタ情報の取込と、invbox から freee 会計への取引データの送信を API で行うことができます。



freee 会計から invox へ API で連携できるマスタ

次のマスタを freee 会計から invox に API で連携することができます。

取引先（口座情報）

勘定科目

部門

品目

メモタグ

invoX から freee 会計に連携する取引データの内容

invoX から freee 会計に連携する取引データの内容は次の通りです。

なお、次の税区分は freee 会計にて利用非推奨となっており廃止予定であるため、使用することができません。他の税区分をご利用ください。

課税 / 非課税 / 不課税 / 輸出等 / 未選択 / 課税 8%

項目	設定値
[ヘッダ]発生日	仕訳の計上日
[ヘッダ]取引先	請求書の仕入先 freee 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が指定されている場合、取引データの連携時に「 invoX から freee 会計に送信する取引先マスタの内容 」の内容で freee 会計に取引先が追加されます。
[ヘッダ]期日	請求書の支払予定日
[ヘッダ]管理番号	請求書の請求 ID
[明細]勘定科目	仕訳明細の勘定科目 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。
[明細]税区分	仕訳明細の税区分 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。
[明細]金額	仕訳明細の金額
[明細]品目	仕訳明細の品目 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。
[明細]部門	仕訳明細の部門 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。

[明細]メモタグ	仕訳明細のメモ 1～メモ 5 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、ブランクで連携されます。
[明細]セグメント 1～3 ※freee 会計のアドバンスプラン、エンタープライズプランでのみ使用可能	仕訳明細のセグメント 1～セグメント 3 ※セグメント項目を使用するためには、出力設定の「セグメントを使用する」で「セグメント 1のみ使用する」または「セグメント 1～3 を使用する」のどちらかを ON にする必要があります
[明細]備考	仕訳明細の摘要
添付ファイル	invox にアップロードされた請求書の PDF ファイル

invox から freee 会計に送信する取引先マスタの内容

freee 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が請求書に指定されている場合、取引データの API での連携時に invox の仕入先マスタが連携されて freee 会計に取引先が追加されます。

invox から freee 会計に送信する取引先マスタの内容は次の通りです。

項目	設定値
取引先コード	請求書の仕入先のコード
取引先名	請求書の仕入先の名称
正式名称	請求書の仕入先の名称
事業所種別	請求書の仕入先の法人／個人

1.2 初期設定

出力設定

[設定]-[サービス]-[出力設定]を開き、「取引・仕訳データを出力する」で「freee（API）」を選択し、「保存」をクリックします。

セグメント項目を連携する場合、「セグメントを使用する」を選択し、「セグメント 1 のみ使用する」または「セグメント 1～3を使用する」を ON にします。

[× キャンセル](#) [📄 保存](#)

出力設定

ヘルプを表示する

利用したい出力形式が無い場合もカスタマイズでの対応が可能です。
カスタマイズをご希望の場合は[サポート](#)までご連絡ください。

- 請求データを出力する

請求データ（標準形式）
- ステータスに関わらず、何度でも出力可能にする
- 支払データを出力する

振込データ（全銀形式）
- 仕入先コードを出力する
- 取引・仕訳データを出力する

freee(API)
- 取引
 - セグメントを使用する
 - セグメント1のみ使用する
 - セグメント1～3を使用する
 - 費用計上仕訳
 - 支払計上仕訳

free 会計との API 連携設定

[設定]-[サービス]-[free API 設定]を開き、「接続」をクリックします。



free 会計へのログイン画面が表示されるので、free 会計のアカウントでログインします。

「アプリ連携の開始」画面で **invoX** が要求するアクセス権とアクセスできる事業所を確認し、「許可する」をクリックします。

アプリ連携の開始

アプリ名 **invoX (開発環境)**

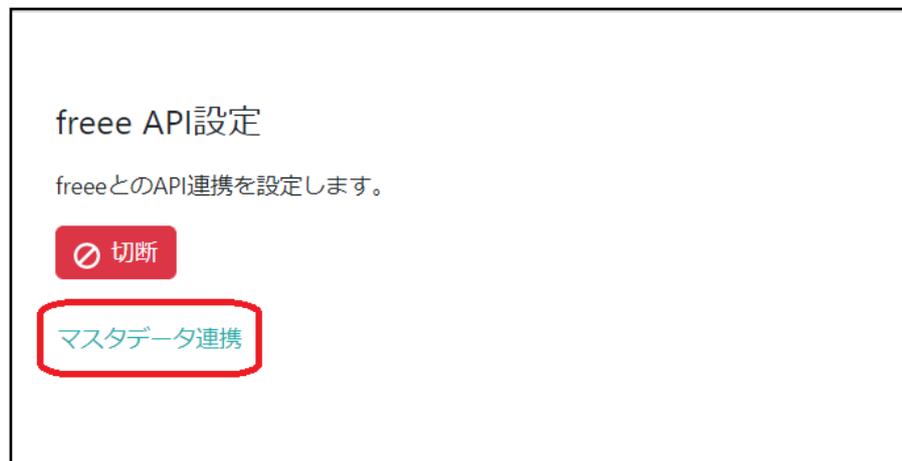
アプリとの連携を許可しますか？
このアプリはあなたのfreeアカウントへアクセスできるようになります。

このアプリが要求するアクセス権

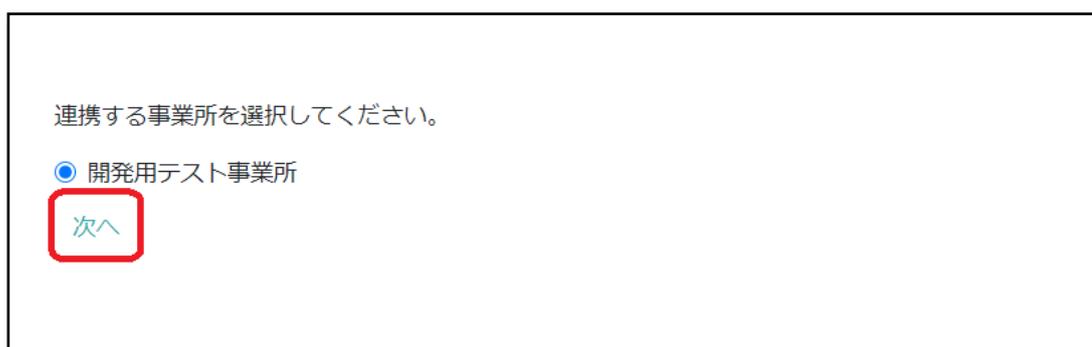
- データの読み込み (ログインユーザー関連情報)
- 勘定科目の参照
- 事業所情報の参照
- 取引の参照
- 取引の追加・変更・削除
- 品目の参照
- 品目の追加・変更・削除
- 取引先の参照
- 取引先の追加・変更・削除
- ファイルボックスの参照
- ファイルボックスの追加・変更・削除
- 部門の参照
- 部門の追加・変更・削除
- メモタグの参照
- メモタグの追加・変更・削除
- 税区分の参照
- セグメント1の参照
- セグメント1の追加・変更・削除
- セグメント2の参照
- セグメント2の追加・変更・削除

1.3 マスタデータの API 連携

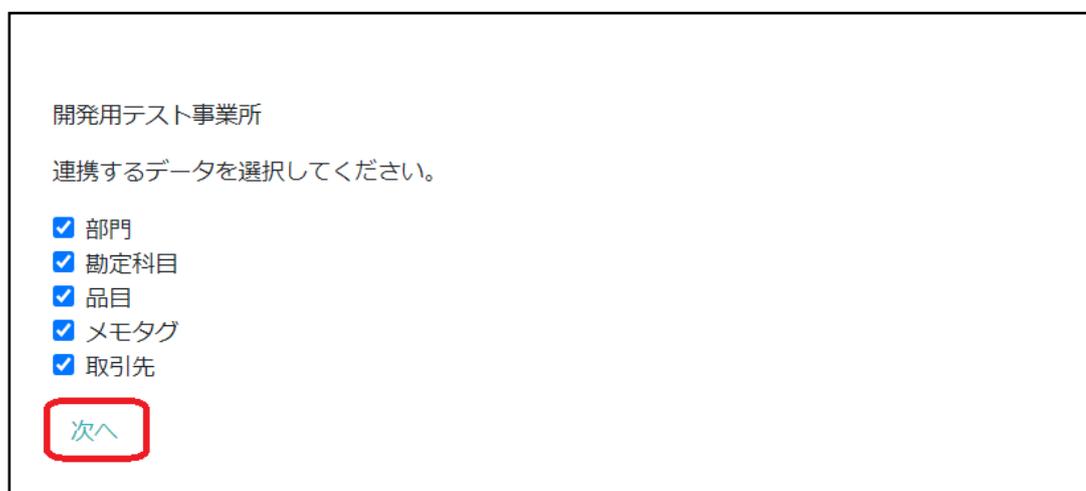
[設定]-[サービス]-[free API 設定]を開き、「マスタデータ連携」をクリックします。



連携対象の事業所を選択し、「次へ」をクリックします。



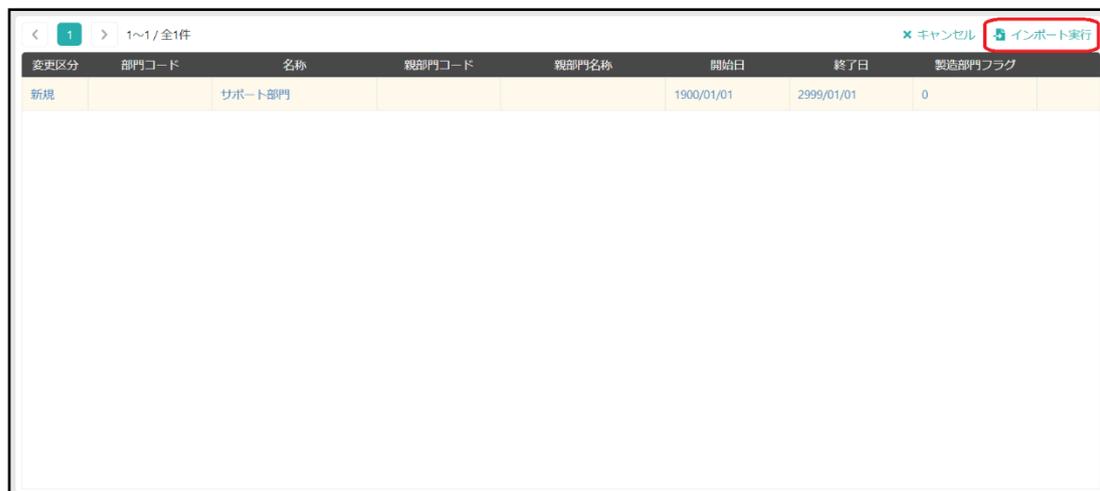
連携対象のマスタを選択し、「次へ」をクリックします。



スタートガイド freee 会計 連携編

マスタごとに確認画面が表示されるので、連携内容を確認して「インポート実行」をクリックします。

1つのマスタのインポートが完了すると、次のマスタの確認画面が表示されます。



The screenshot shows a web application interface with a table. The table has the following columns: 変更区分, 部門コード, 名称, 親部門コード, 親部門名称, 開始日, 終了日, and 製造部門フラグ. The first row of data is highlighted in yellow and contains the following values: 新規, サポート部門, (blank), (blank), (blank), 1900/01/01, 2999/01/01, and 0. In the top right corner of the interface, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'インポート実行' (Import Execute). The 'インポート実行' button is highlighted with a red rectangular box.

変更区分	部門コード	名称	親部門コード	親部門名称	開始日	終了日	製造部門フラグ
新規		サポート部門			1900/01/01	2999/01/01	0

1.4 取引データの API 連携

invox からの取引データの API での送信

[出力]-[費用計上仕訳 (free API)] で送信対象の請求書を選択し、「freee へ送信」をクリックして取引データを送信します。

請求ID	仕入先	部門	プロジェクト	請求日	支払予定日	金額	支払方法
IR4441770541	株式会社セントロ	開発部		2020/5/26	2020/5/29	¥94,600	銀行振込

出力履歴の削除

[出力]-[履歴]を開き、「出力データ種別」に「費用計上仕訳 (free API)」を指定します。

検索された出力履歴をクリックすると開く画面で「削除」を実行すると出力履歴が削除され、再送信が可能になります。

一度送信が完了した請求書の内容を変更して再度送信する場合に、この操作を行います。

スタートガイド free 会計 連携編

請求仕訳 (free API) 削除済みを表示

日付

請求ID 仕入先名 部門名 プロジェクト名 支払方法

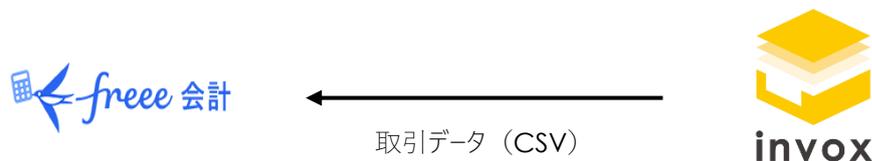
< 1 > 1~1 / 全1件 合計金額 ¥100,000 [更新](#)

データ	出力日	件数	履歴削除日	金額
請求仕訳 (free API)	2021/2/8 19:27	1		¥100,000

2 freee がスタータープラン・スタンダードプランの お客様

2.1 概要

freee 会計で API 連携をご利用いただくことができませんが、invoX から取引データの CSV ファイルを出力して、freee 会計に取り込むことができます。



freee 会計のマスタの invoX への登録

invoX のインポート機能で CSV ファイルからマスタデータをインポートすることができます。

インポート機能は下記のヘルプをご参照ください。

<https://invoX.jp/import-setting>

品目、メモタグをインポートする場合、「インポートするデータを選択」で「汎用マスタ」を選択してください。

インポートファイルに指定する「汎用マスタグループコード」は品目は「FREE_ITEM」、メモタグは「FREEE_MEMO」としてください。

インポートファイルの形式は下記のヘルプをご参照ください。

<https://invoX.jp/import-file-setting>

invox から freee 会計に連携する取引データの内容

invox から freee 会計に連携する取引データの内容は次の通りです。

なお、次の税区分は freee 会計にて利用非推奨となっており廃止予定であるため、使用することができません。他の税区分をご利用ください。

課税 / 非課税 / 不課税 / 輸出等 / 未選択 / 課税 8%

項目	設定値
収支区分	固定で「支出」
管理番号	請求書の請求 ID
発生日	仕訳の計上日
決済期日	請求書の支払予定日
取引先コード	請求書の仕入先のコード freee 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が指定されている場合、取引データの連携時に次の内容で freee 会計に取引先が追加されます。 コード = invox の仕入先コード、名前 = invox の仕入先名、その他の項目 = デフォルト
取引先	請求書の仕入先名 freee 会計の取引先マスタに登録されていない仕入先が指定されている場合、取引データの連携時に次の内容で freee 会計に取引先が追加されます。 名前 = invox の仕入先名、その他の項目 = デフォルト
勘定科目	仕訳明細の勘定科目 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。
税区分	仕訳明細の税区分 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、空白で連携されます。
金額	仕訳明細の金額

スタートガイド freee 会計 連携編

税計算区分	固定で「内税」
税額	空白
備考	仕訳明細の摘要
品目	仕訳明細の品目 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、取引データの連携時に品目マスタが追加されます。
部門	仕訳明細の部門 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、取引データの連携時に部門マスタが追加されます。
メモタグ	仕訳明細のメモ 1～メモ 5 freee 会計に登録されている値を指定してください。 登録されていない値が指定されている場合、取引データの連携時にメモタグが追加されます。
セグメント 1	空白
セグメント 2	空白
セグメント 3	空白
決済日	空白
決済口座	空白
決済金額	空白

2.2 初期設定

[設定]-[サービス]-[出力設定]を開き、「取引・仕訳データを出力する」で「freee（CSV）」を選択し、「保存」をクリックします。

[× キャンセル](#) [📁 保存](#)

出力設定

[ヘルプを表示する](#)

利用したい出力形式が無い場合もカスタマイズでの対応が可能です。
カスタマイズをご希望の場合は[サポート](#)までご連絡ください。

請求データを出力する

請求データ（標準形式） ▼

ステータスに関わらず、何度でも出力可能にする

支払データを出力する

振込データ（全銀形式） ▼

仕入先コードを出力する

取引・仕訳データを出力する

freee(CSV) ▼

取引

費用計上仕訳

支払計上仕訳

2.3 取引データの CSV ファイル連携

invox からの取引データの CSV ファイル出力

[出力]-[費用計上仕訳 (free)] で出力対象の請求書を選択し、「出力」をクリックして取引データの CSV ファイルを出力します。

費用計上仕訳 (free) 条件クリア 出力

請求ID 仕入先 プロジェクト 支払方法

担当者 部門 配下の組織を含む

日付

金額 通貨

< 1 > 1~2 / 全2件 20 出力対象 件数 0件 金額 更新

請求ID	仕入先	部門	プロジェクト	請求日	支払予定日	計上日	金額	支払方法
<input type="checkbox"/> IR3996686572	株式会社Deepwork			2020/8/3	2022/8/31	2021/8/31	¥ 16,280	銀行振込
<input type="checkbox"/> IR4088615639	株式会社インターネット				2021/9/30	2021/8/31	¥ 2,555,966	口座振替

free での取引データのインポート

free 会計の[取引インポート]から CSV ファイルをインポートします。

取引のインポート・エクスポート

エクセルインポート > 取引インポート > 取引・口座振替のエクスポート >

Excel形式 (xls/xlsx) の仕訳や売上データを取り込むことができます。

指定の形式に加工することで他社の会計ソフトのデータを取り込む事ができます。

登録された取引・口座振替データをCSVファイルとして一括でダウンロードすることができます。

出力履歴の削除

[出力]-[履歴]を開き、「出力データ種別」に「費用計上仕訳（freee）」を指定します。

検索された出力履歴をクリックすると開く画面で「削除」を実行すると出力履歴が削除され、再出力が可能になります。

一度出力した請求書の内容を変更して再度出力する場合に、この操作を行います。

費用計上仕訳 (freee) 削除済みを表示

日付

請求ID

仕入先

部門

プロジェクト

支払方法

出力者

< 1 >
1~2 / 全2件
20
合計金額 ¥5,500,000
更新

データ	出力日	出力者	件数	履歴削除日	金額
費用計上仕訳 (freee)	2024/3/12 14:26	■■■■	1		¥1,100,000
費用計上仕訳 (freee)	2024/3/12 14:26	■■■■	1		¥4,400,000



最後までご覧いただきありがとうございます。

ご質問やご要望等ありましたら

チャットもしくは support@invox.jp までメールにてご連絡ください。